

# 一般質問通告書

令和4年9月定例会

## 1 番 笹木慶之議員（一問一答）

### 1 健全で持続可能な行財政運営の取組について

(1) 本年3月に作成された財政計画（令和3年度改訂版）の内容と令和3年度決算額において、かなりのかい離が見られる。計画行政の運営は非常に重要な課題と受け止めるが、その現状分析と今後の対応について問う。

(2) 令和3年度の経常収支比率は、前年度と比較して6.1ポイント低下している。このことについては評価するが、そのための具体的な取組と今後の推移について問う。

(3) 一般会計において歳入総額を占める自主財源の割合は前年度から3.6ポイント上昇しているが、全体では37.7%と低い水準にある。そこで本市が持つ特性を生かした財源の確保について問う。

ア 今年度の本市の対応とゴルフ場利用税交付金の額をどう評価しているか。またこれを踏まえて、今後の対応はどう考えているか。

イ オートレース事業については、ミッドナイトレース開催日の増加、民間ポータルによる売上げ増加により勝車投票券売上額は対前年度比11.8%と売上げを伸ばしているが、一方、本場、場外、電話投票、重勝式では売上げ減少、入場者数は4年前の約半分、一日平均売上額も減少している。社会環境の変化も見られるが、他場の状況も踏まえ、売上げ増加に向けてどう取り組んでいくのか。

### 2 JR美祢線・小野田線の維持・確保について

経営状況が厳しいローカル鉄道の在り方を話し合ってきた国土交通省の有識者検討会は、7月25日に提言をまとめた。その内容は、「利用者が少ない区間に関し、関係者間でバスへの転換を含めた運行見直しの協議に入る枠組みを提案した」と報じられた。国が主体的に関与し、対象となる区間は1キロメートル当たり1日平均利用者数（輸送密度）が「1,000人未満」と目安を盛り込んだ。2019年実績で本市の美祢線、小野田線が該当するとのことである。最長3年以内にながしかの結論が求められており、先送りが許されぬ危機的状況と受け止めざるを得ない。そこで、現時点における本市の取組と今後の対応について問う。

2番 白井健一郎 議員 (一問一答)

1 「所得制限撤廃」について

- (1) 子育て先進地明石市の「5つの無料化」のように、本市も同様に事業化する考えはないか。
  - ア 高3までの子ども医療費の無料化
  - イ 第2子以降の保育所の保育料、副食の費用の完全無料化
  - ウ 無料の赤ちゃんグッズ(おむつ等)の専門員による宅配
  - エ 小・中学校給食の無料化
  - オ 公共施設の使用料の無料化
- (2) 本市が誇るスマイルキッズではあるが、サービスについての検証結果と今後のサービス内容の充実をどのように考えているか。
- (3) 本年10月の児童手当の特例給付撤廃を受け、市として独自に該当者に補填することはできないか。幾ら掛かるか。
- (4) 子ども医療費助成について、本市で所得制限を撤廃する考えはあるか。幾ら掛かるか。
- (5) 山口東京理科大学における奨学金について、保護者の所得との関わりを中心に給付型や貸与型、無利子有利子等でどのような実績があるのか。
- (6) 本市での子の出産・入学祝金は所得制限が撤廃されているが、この理念は何か。
- (7) 市長は本市が子育て世帯にもっと住みよい都市になるように、この全国的な所得制限撤廃の流れに乗って、一部の手当だけでも取り組み始めるつもりはないか。子育て支援の予算枠の抜本的拡充が必要だという認識はあるか。

2 「令和4年7月19日の豪雨」時の避難所の準備について

- (1) 高千帆小で、毛布の入った倉庫の鍵が合わなかった件につき、どう総括されたか。
- (2) 体育館の避難者に毛布を渡すだけでよいか。プライバシー保護や冬場の防寒のための一工夫、飲料水等は考えられているか。
- (3) 緊急安全確保という最大級の警報を出したにもかかわらず、高千帆小への避難市民は1名のみという結果をどう総括しているか。
- (4) 「災害時は自助」とよく言われるが、これはどういう意味か。
- (5) 市内の河川の定点観測カメラ(スマホで閲覧可)は、市民に有効な情報を提供していると考えるか。

3番 中島好人 議員 (一問一答)

1 安倍晋三元首相の「国葬」、「県民葬」に対する市長の方針について

- (1) 市長は「国葬」に関連して、何か行うことを考えているか。
  - (2) 市長は「県民葬」を行わないように県知事に申し入れてはどうか。
  - (3) 「県民葬」が行われた場合、市長は弔意、半旗の掲揚や黙とうなど、個人の意思に関わることについて強制する考えを持っているか。
- 2 旧統一協会に対する市長の方針について
- (1) 旧統一協会と本市との関係について、現在どのようになっているか。
    - ア 旧統一協会の活動への表彰、感謝状、補助金の交付又は寄附等がどのようにになっているか。
    - イ 市長は今後においては、旧統一協会との関係を一切絶つようにすべきであるが、どのように考えているか。
- 3 市営住宅政策及び管理責任について
- (1) 本人の希望があれば、高齢者は高層から1階へ住み替えるべきであると思うが、どのように考えているか。
  - (2) 老朽化し、朽ちた危険な市営住宅は、直ちに解体すべきである。現在、人体に危険を及ぼす西善寺市営住宅のような住宅は何箇所あり、どのように対策するつもりなのか。
  - (3) 市営住宅駐車場での事故における本市の対応についてはどうなっているか。

4番 長谷川 知 司 議員 (一問一答)

- 1 JRを含む公共交通の利便性と利用促進について
- (1) 厚狭駅、小野田駅を核とした新幹線、山陽本線、美祢線、そして小野田線、本山線との乗り継ぎを含めた利便性をどう考えているか。
  - (2) これら各駅と地域を結ぶバス、タクシーの利用促進が必要と思われる。市内を網羅する山陽小野田市地域公共交通網形成計画期間が今年度で終了すると思うが、課題があるのか。
  - (3) 特に高齢者と交通弱者に対する支援は、どのようなものがあるのか。
- 2 防災と危機管理について
- (1) 行政が絡む各種防災訓練はどのようなものがあるのか。
  - (2) 早期災害復旧のための対応はどのような方法を考えているのか。
  - (3) 各小学校区の防災対策の内容と事業への市の支援はどうなっているのか。
- 3 地域運営組織について
- (1) 各小学校区の組織化の実情と課題はどうなっているのか。
  - (2) 組織化へ向けて、行政の支援はどのようにしているのか。
  - (3) 地域活性化のキーマン育成の必要性をどう考え、育成の指導はどのよ

うな方法を考えているのか。

5番 中村博行議員（分割質問・分割答弁）

1 厚陽地区の将来展望について

- (1) 厚陽中学校は、生徒数の減少（現32名）でクラブ活動もままならないところまで来ている。厚陽中学校の存続に関連するアンケートを取られたと思うが、今後の方向性、計画はどうなっているか。
- (2) 厚陽小学校は現在児童数55名であり、3年生（7名）・4年生（9名）が複式学級となっている。来年度は現2年生と3年生の複式学級の可能性があると聞く。複式学級の要件はどのようなものか。
- (3) 厚陽小中学校は一貫校である。中学校が他校と統合となれば、(2)の状況にある小学校も「山陽小野田市立学校適正規模・適正配置基本方針」から必然的に廃校の可能性が出てくると思うがどうか。
- (4) 厚陽保育園は定員60名に対し、現在47名である。そのうち23名が他地区からの通園である。「山陽小野田市公立保育所再編基本計画」では、厚陽保育園は存続となっているが、新設される「日の出保育園」の定員次第では大幅な定員減となる。どのように考えているか。
- (5) 厚陽保育園は昭和47年建築である。老朽化は言うまでもないが、存続である以上蛍光灯のLED化、トイレの洋式化、手洗い場の位置、部屋の振り割り、駐車場問題など多くの課題がある。施設改善をどのように考えているか。
- (6) 都市計画マスタープランでは地域別構想として4地域に分けられ、それぞれ現況と課題やまちづくり方針などが記載されている。厚陽地区はその中で厚狭地域の大きなくくりの中にあって、中心市街地のような構想が示されていないが、市はどう考えているか。また、他の地域にも言えることだが、中学校区ごとについて計画策定の考えはあるか。
- (7) 厚陽中学校の跡地利用について、地域の声として住宅の要望が多いが、市はどのように考えているか。
- (8) 一昨年9月議会の一般質問で、一方的提案ではあったが、以前から学校北部の農用地除外の要望が強い農地へ老朽化した厚陽保育園、厚陽地域交流センターなどを含めた複合施設の建設について検討されたか。

2 新たな企業団地の設置について

- (1) 小野田・楠企業団地の分譲用地も間もなく完売の時期を迎える。企業誘致については地域振興策としての役割を終えたとの意見もあるが、企業誘致について今後も積極的に推進していくのか。考えを問う。
- (2) 本市にとって、企業誘致は雇用等においても重要な事業である。小野

田・楠企業団地の現状から新たな企業団地の設置は急務と思う。山口県との連携は当然ながら今後どのように進められるのか。考えを問う。

6番 矢田松夫議員（一問一答）

1 放課後児童クラブの環境整備について

(1) 人（支援員）・物（施設）・金（財源）に問題はないか。

(2) 山陽地区における委託運営団体の変更となるようだが、支援員や利用者に支障が発生しないか。

2 ねたろう保育園の豪雨災害対策について

水害対策への指針や避難訓練について、見直しの必要性はないか。

7番 吉永美子議員（一問一答）

1 動物愛護について

昨年9月議会での答弁を踏まえ、取組状況と今後の予定を聞く。

2 防災について

(1) 7月の大雨による被害者への対応を聞く。

(2) 今後、起こり得る災害に向け、防災・減災のための取組をどう進めているか。

(3) 個別避難計画の策定は進んでいるか。

(4) ペット同行避難の取組状況を聞く。

3 ガラス文化の推進について

日頃から市民により多く、ガラス文化を発信するため、公共施設におけるガラスの取組の評価と今後の予定を聞く。

4 糸根公園の整備について

6月議会での答弁を踏まえ、今後の予定を聞く。

8番 奥良秀議員（一問一答）

1 都市公園の現状と将来へ向けての課題について

(1) 1人当たりの公園面積が県内平均よりも多い本市だが、適正な管理はできているのか。そこで、都市公園の管理状況を問う。

(2) 都市公園の中で、街区公園の管理について地域から様々な意見が出されている。どのように対応しているか。

(3) 山陽小野田市緑の基本計画では、「みんなで緑を守り育て、住み良い暮らしにつなぐ山陽小野田市」を基本理念としている。しかし、少子高齢化や時代の変化により子供の遊びや市民のレクリエーション、コミュニケーションの在り方は大きく変化している。この変化をどのように捉え

てこれからの都市公園、特に市民の生活に身近な街区公園の維持管理の在り方を考えているか。

2 小中学校にあるプールの現状や維持管理状況と使用頻度を考慮した今後の維持・更新の在り方について

(1) 老朽化が進むプールの運営、維持管理はどのようになっているか。プールの使用状況、各学校、保護者からの不具合の申入れの状況や内容と対応状況はどうなっているか。

(2) 災害時のプールの活用方針や今日に至るまでの実績はどうなっているか。

(3) 公共施設個別整備計画ではプール自体の更新時期は定まっていない。ただし、60年以上経過した施設の利用についての安全性や利便性は今までどおりでよいのか。これからのプール維持管理やプール授業の在り方をどのように考えているか。

9 番 岡 山 明 議員 (一問一答)

1 急増した新型コロナウイルス感染者への対応について

(1) 新型コロナワクチンの接種率はどうなっているか。

(2) 症状があり、感染が疑われるときの対応はどうなっているか。

(3) 陽性者、濃厚接触者の療養に必要な日数はどうなっているか。

(4) 自宅療養の注意点は何か。

(5) 無症状者に対する抗原検査・PCR検査の実施状況はどうなっているか。

(6) 障害者・高齢者の相談支援体制はどうなっているか。

2 男性トイレにサニタリーボックス(汚物入れ)を設置することについて

(1) 市役所、山陽総合事務所、地域交流センターの設置状況はどうか。

(2) 設置の考えはあるか。

3 学校以外でのタブレットの使用状況について

(1) 自宅で使用する頻度はどの程度なのか。

(2) 児童クラブに通信環境を整え、使用可能にできないのか。

(3) 破損や紛失した場合、保険の適用など、誰が弁償するのか。

10 番 山 田 伸 幸 議員 (一問一答)

1 藤田市長の市政に取り組む政治姿勢について

(1) 藤田市長が掲げる諸施策に対して職員の取組姿勢はどうか。

(2) 児童クラブの位置づけと取組姿勢はどうか。

(3) 女性職員の登用と人事政策は明確にされているか。

(4) 業務のデジタル化が進められる中で、人材育成についてどのように考えているのか。

2 新型コロナウイルス感染第7波に対する市の取組について

(1) 第7波への備えは万全であったか。

(2) 検査体制の確立や感染防止対策などの見直しは行ってきたか。

(3) 感染が広がった中で、市は市民を守るためにどのような手立てを取ったか。

(4) 市と市民病院、開業医などとの連携は取れていたのか。

(5) 保健業務はどのように機能していたのか。